

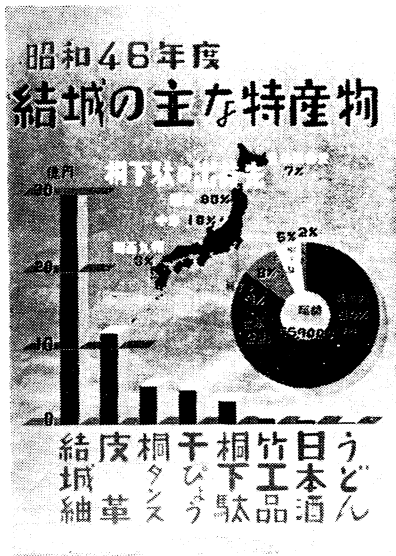
# 統計茨城

3月号

目次

第23回

県統計グラフコンクール入選作品



第2部 第3席  
結城市立結城小  
倉持紀子

1 統計論壇	1
2 昭和47年度学校保健統計調査の結果	2
3 全国物価統計調査の結果	4
4 指標	
1 主要経済指標	6
2 人口	8
3 労働	10
4 農業	12
5 鉱工業	13
6 金融	14
7 運輸	15
8 物価	16
9 家計	18
5 将来人口の推計その2	20
6 統計ニュース	
3月の主な行事	21
7 編集室	21

## 利用上の注意

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入 | 2 年度は4月から翌年の3月まで   |
| 3 記号                    |                    |
| — 零または該当数字のないもの         | r 訂正数字             |
| 0 該当数字が掲載単位未満のもの        | △ 減少または出超          |
| … 不詳のもの                 | x 秘密保持のため掲載をひかえたもの |
| p 暫定数字                  |                    |

## 統計を活かす

— 利用者の立場から —

茨城県農業協同組合 鯉淵丈男  
中央会 会長

統計表が作成され、われわれが手にするまでには、いくつかの段階を経て、非常に大変なご苦労がひそんでいることと拝察する。まず、調査する段階、集計の段階、分析の段階、印刷の段階、配布の段階等考えると、一枚の統計表といえども、非常にコストの高いものになっている。したがって、これを見る立場（利用者）としても、十分に努力してこれを活用する姿勢が必要なわけである。

もともと、統計を作成する立場としては、その歴史的動機、統計学ないしは統計法等の諸種の制約の中にあっても、刻々、変化する経済情勢に対処して、技術的に相当の進歩をとげているが、一方、ひるがえって、これを手にして見る利用者側にあっては、依然として、「見た。」、「わかった。」だけに終始しているとすれば、その統計表の生命は、何か非常にはかないものであるような気がしてならない。

作成者としては、その統計表によって当然のことながら、より多く、より深く、数字からの内容を識者に知ってほしいと考えるはずであるが、利用者側は、一般的にはいろいろの事情から、その意図について行けないのが実情である。『作者があるから、利用する。』ということと、『利用する者があるから、作る。』という目的論的比較においては、両者の間の意識において、相当の開きがある。統計に限らず、何事もそうであるように作成する者と利用する者との間の認識に、著しい懸隔があっては、その統計の活用および発展はおぼつかない。だからこそ、両者の認識の歩み寄りということには、大いに努力しなければならないと痛感するのである。ここにおいて、今後は、利用者側も「見る技術」というものをいっそう、学ぶ必要があるし、ひいては、積極的に活用する姿勢を考える時にきている。たとえば、行政における一次的統計をもとに、利用者における二次的統計（業務統計）の作成、あるいは、今後ますます盛んになるであろうところの推測統計に対し、自己の立場からする分析、または、統計集団と業務上の行動集団の接点の検討、および目標管理と統計の関連づけ等々、利用者としても、単に座して見る統計でなく、一歩突っ込んだ見方がつねに大切であり、これが作成者と利用者間の実質的コミュニケーションの場を、相まって作りあげる基本になると考えるのである。

したがって、作成する側としても、統計表の伝達という分野を含めた広義のP・R活動は、ますます重要性を持つ今後の大きな課題であろう。

現在の情報化時代は、見方によっては、情報の混乱時代ということもできる。ここにおける確然たる統計の立場は、また、さらに重要性を増してきている。そうすると利用者側からも、作成者側に対して注文が相当でくるであろうし、でて来なければならないはずである。その時に、両者の密接なコミュニケーションがあって、はじめて、さらに進んだ統計が生まれることになるであろう。そのためにも、現在の時点から、作成者には、ますます技術の発展を望むと同時に、利用者も、それに対応できる素地の醸成の必要性を感じるものである。

# 身長, 体重は昨年を上回る

## — 昭和47年度学校保健統計調査の結果 —

幼児, 児童, 生徒の発育や健康状態を明らかにして、学校保健行政上の資料を得るため、文部省が毎年学校保健統計調査を実施しているが、このたび、昭和47年度に行なった調査の結果が概要つぎのとおりまとまった。

この調査は、文部省の示す抽出率（幼稚園 $\frac{1}{10}$ 、小学校 $\frac{1}{10}$ 、中学校 $\frac{1}{6}$ 、高等学校 $\frac{1}{6}$ ）にしたがい、県内の各学校から幼稚園27園、小学校59校、中学校33校、高等学校21校、あわせて190校を無作為抽出して、調査をしたも

のである。

なお、この数値は概数で、後日、文部省の公表によって確定数となる。

### 1 発育状態は各年齢とも年々向上

本県における幼児, 児童, 生徒の体位（身長, 体重, 胸囲, 座高）は年々向上している。

第1表 幼児, 児童, 生徒の年齢別身長, 体重の推移

(単位 cm, kg)

男 女, 年 度	幼稚園	小 学 校						中 学 校			高 等 学 校				
	5 歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
身長 { 男	昭和42年	108.9	113.4	118.7	123.7	129.0	133.7	138.5	144.9	152.0	158.4	163.6	165.4	166.6	
	44	109.2	114.1	119.5	124.7	129.2	134.6	139.6	145.4	152.4	158.7	164.5	166.2	167.3	
	46	110.5	114.1	120.1	124.6	130.0	134.6	139.6	146.6	153.5	159.6	164.7	166.4	167.8	
	47	109.5	115.2	120.2	125.6	130.2	135.3	140.6	145.2	154.2	160.8	163.2	166.7	167.8	
	女	昭和42年	107.5	112.6	117.8	123.8	128.3	134.2	140.5	146.5	150.2	152.5	153.8	154.2	154.3
		44	108.3	113.1	118.6	123.6	128.9	134.8	141.4	146.6	150.6	152.8	154.6	154.9	155.0
46		109.3	113.6	119.1	124.6	129.3	135.4	141.5	147.7	151.7	153.7	155.1	155.4	155.3	
47	108.6	114.1	119.2	124.8	130.3	136.2	142.6	146.7	151.7	153.8	154.9	155.4	155.5		
体重 { 男	昭和42年	18.4	19.5	21.7	24.0	26.5	29.4	31.7	36.8	42.1	47.6	52.8	55.2	57.2	
	44	18.5	20.0	22.3	24.9	27.0	30.1	33.3	37.5	42.8	48.0	53.8	56.2	58.0	
	46	18.8	20.1	22.5	24.8	27.6	30.1	33.5	38.9	43.8	49.0	54.9	56.7	58.7	
	47	18.5	20.5	22.9	25.5	27.8	30.9	34.5	39.2	44.3	50.3	54.4	56.6	58.6	
	女	昭和42年	17.7	19.2	21.3	23.8	26.3	29.5	33.7	39.2	43.4	46.8	49.4	50.6	51.4
		44	18.0	19.7	21.8	24.8	27.0	30.4	35.1	39.7	44.2	47.4	49.9	51.1	51.6
46		18.4	19.8	22.0	24.5	27.4	30.6	35.0	40.9	45.4	48.7	50.4	51.6	51.8	
47		18.1	20.1	22.2	25.0	28.0	31.4	36.0	41.3	45.5	48.7	51.4	52.1	52.4	

第1表は、幼児、児童、生徒の体位のうち、身長および体重について、昭和42年以降の推移をみたものであるが、各年齢とも順調な伸びを示しており、胸囲、座高についても同様に伸びてきている。

なお、本年行なった調査結果をみると、幼稚園5歳児は昨年より若干下回ったが、小学校の6～11歳は、男子9歳、10歳の胸囲が昨年よりわずかに低下しただけで、その他はすべて上回っている。

中学校の12～14歳は、身長で12歳男女、胸囲で13歳男女および14歳女子が低下した以外は、昨年を上回る伸びとなっている。

また、高等学校でも一部に昨年より、低下したのがみられるが、全体的にみると、本県の児童、生徒の体位は昨年を上回る伸びとなっている。

## 2 健康状態は結核被患率、寄生虫卵保有率ともに減少

本年実施した健康診断のうち、とくに被患率の高い疾

病異常をみると、第2表のとおりである。

まず、各学校を通じて最も被患率の高いのはむし歯で、70～80%台となっており、低学年ほどその被患率が高い。つぎに高いのは、幼稚園ではへんとう腺肥大で5.8～7.5%、小、中、高等学校では近視で、小、中学校12.0～19.1%、高等学校26.7～36.6%となり、高学年になるほど高く、男子より女子の被患率が高い。

また、児童、生徒の結核被患率をみると、小学校0.05～0.09%、中学校0.03～0.08%で、被患者は1万人につき3～9人の割合であり、10年前（昭和37年）の1万人につき26～44人にくらべると大きく減少している。

なお、寄生虫卵の保有者も年々減少して、本年は、回虫卵保有率0.21～0.88%（昭和37年7.9～13.8%）、十二指腸虫卵保有率0.03～0.32%（昭和37年2.3～5.0%）となり、結核同様非常な減少を示してきている。

（県統計課人口学事統計係）

第2表 主な疾病異常被患率（昭和47年度）

（単位 %）

幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
男	女	男	女	男	女	男	女
むし歯 87.5	むし歯 88.1	むし歯 87.3	むし歯 86.9	むし歯 76.5	むし歯 76.1	むし歯 74.2	むし歯 77.3
へんとう 腺肥大 7.5	へんとう 腺肥大 5.8	へんとう 腺肥大 10.9	近視 12.0	近視 13.9	近視 19.1	近視 26.7	近視 36.6
近視 1.3	近視 1.6	近視 8.5	へんとう 腺肥大 10.0	へんとう 腺肥大 4.1	へんとう 腺肥大 4.0	その他の 歯疾異常 3.8	その他の 歯疾異常 4.5
せき柱 胸かく異常 1.2	その他の 歯疾異常 0.8	その他の 歯疾異常 2.5	その他の 歯疾異常 2.5	色神異常 3.1	その他の 歯疾異常 2.0	色神異常 3.4	その他の 屈折異常 2.7
その他の 歯疾異常 0.8	結膜炎 0.8	色神異常 2.1	結膜炎 1.3	その他の 歯疾異常 2.4	結膜炎 0.8	へんとう 腺肥大 1.9	へんとう 腺肥大 2.7

# 地域差の大きい住居費

—— 全国物価統計調査の結果 ——

全国物価統計調査は、総理府統計局が主管して昭和42年第1回目の調査が行なわれ、3年ごとに全国的規模で実施される。

第2回は昭和45年に当たるが、国勢調査が行なれるため、この年を避けて昭和46年に実施された。今回は特に卸売価格の調査が加わったことが特色といえる。

以下、この調査の概要とその結果を紙面の関係上小売物価に限って記してみる。

## 1. 調査の趣旨

この調査は、国民の消費生活のうえで大きな比重を占める商品やサービスについて、卸売および小売の販売価格や販売数量などを銘柄別、地域別、店舗の種類別、流通段階別、流通経路別（仕入先地域別）等に明らかにし、消費者物価対策、地域経済計画その他の経済諸施策の基礎資料を提供することを目的としている。

現行の物価統計は、主として物価の時系列の動きをみるものが大半である。しかしながら、物価の上昇が広く国民生活に影響を及ぼしている今日、単に時系列資料にとどまらず、物価の地域格差をはじめ個別価格そのものの様々な実態を明らかにすることが久しく望まれてきている。これにこたえるため総理府統計局においては全国約20万の店舗から約300品目の販売価格や販売数量を調べ、これによって物価の実態をより総合的には握し、物価に関連する諸問題にこたえようとするものである。

## 2. 調査の方法

### 1 調査の時期

ア 生鮮食料品（鮮魚、野菜および果物）

昭和46年11月8日、9日、10日

イ 生鮮食料品を除く品目

昭和46年11月10日

### 小売調査結果の概要

#### 1 都市階級別の消費者物価地域差指数

昭和46年全国物価統計調査による消費者物価地域差

指数（全国ウェイト、東京都区部=100）を都市階級別（大都市=東京都区部、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、北九州、中都市=人口15万以上の市、小都市A=人口5万以上15万未満の市、小都市B=人口5万未満の市、町村）にみると、総合指数では、大都市が96.6、中都市が93.1、小都市Aが92.3、小都市Bが90.9、町村が90.2の順に低くなっている。

つぎに格差をみると、大都市と町村との間は6.4ポイントの差となっているが、東京都区部と大都市との間には3.4ポイント、大都市と中都市の間では3.5ポイントと大きく開いているのに対して、中都市、小都市A、小都市B、町村の間には、それぞれ0.8、1.4、0.7とほぼ1ポイント程度の差しかみられず、大都市わけでも東京都区部が他の都市に比べて物価高であることを示している。

このような大きな格差をもたらしているのは、主として食料指数（生鮮食料品）および住居指数（家賃）の影響とみられる。

一方、水道料、ガス代など一部品目については、大都市よりも中都市、小都市、町村にいくほど高く、逆格差を示している。

以下、地域差指数を食料、住居、光熱、被服および雑費にわけて都市階級別にみると次のとおりである。

食料指数については、大都市とそれ以外の都市とで

第1表

全国都市階級別消費者物価地域差指数（大分類）

東京都区部=100

費目	全国	大都市	中都市	小都市A	小都市B	町村
総合	92.3	96.6	93.1	92.3	90.9	90.2
食料	93.0	97.7	93.1	92.8	90.8	90.5
住居 (家賃を含む)	83.2	93.3	85.1	82.6	80.5	79.2
光熱	95.9	97.1	96.2	96.4	96.2	95.7
被服	94.3	98.0	95.9	92.8	93.3	92.4
雑費	93.8	95.9	94.9	95.0	93.8	92.8

は大きな開きを示しているが、中都市、小都市、町村との間にはそれほど大きな差はない。

すなわち、大都市の食料指数は97.7、中都市では93.2とこの間に4.5ポイントの差があるが中都市、小都市A、小都市Bおよび町村の間にはそれほど大きな差はなく、それぞれ0.4、2.0、0.3ポイントの差にすぎない。このような格差が生じている主な原因としては、生鮮食料品の生鮮魚介、野菜および果物の大都市と中都市との差がそれぞれ9.6、7.9、8.3と大都市が高いことによってい

る。つぎに、住居指数についてみると、大都市の93.3に対して、町村が79.2と低く、この間に14.1ポイントの差があり、また、東京都区部と大都市との間に6.7ポイント、大都市と中都市では8.2ポイントと大きな差を示している。これは家賃が大都市のみと、東京都区部と町村との差は68.3ポイント、そのうち東京都区部と大都市との間に22.9ポイント、大都市と中都市間では27.0ポイントの大差となっている。家賃を除いた住居指数(設備修繕、水道料、家具什器等)は大都市(98.5)、中都市(96.3)、小都市A(94.1)、小都市B(94.9)、町村(94.3)と都市階級格差は小さい。

光熱、被服、雑費についてみると、各指数にいずれも大都市より中都市、小都市、町村に至るにしたがって低くなっている。大都市と町村間の差をみると、それぞれ1.4、5.6、3.1ポイントとなっており、光熱の差が5費目中最も小さい。

(1) 食料

食料指数は、大都市97.7、中都市93.2、小都市A92.8、小都市B90.8、町村90.5とそれぞれ順に低くなっている。

第2表 地方別の地域差指数 東京都区部=100

地方	総合	食料	住居(家賃を含む)	光熱	被服	雑費
北海道	94.5	92.5	87.8	103.8	98.7	97.4
東北	91.4	90.3	82.1	97.2	94.0	95.2
関東	94.6	96.3	88.1	97.6	94.5	94.7
北陸	93.9	93.3	83.1	99.0	95.6	98.1
東海	92.7	93.9	81.5	98.3	92.3	94.9
近畿	93.9	95.8	86.3	92.6	94.6	94.1
中国	90.9	90.2	80.6	96.6	96.3	92.9
四国	89.9	89.5	78.1	100.0	92.2	93.1
九州	90.2	87.9	79.5	101.0	94.7	94.5

るが大都市と町村間では7.2ポイントの差があり、小都市、町村部の生産地に対して、消費地である大都市における食料指数の高いことがわかる。

(2) 住居

住居指数は、地域差では衣食住の中で最も大きく開いている。すなわち大都市93.3、中都市85.1、小都市A82.6、小都市B80.5、町村79.2となっており、東京都区部と町村間では20.8ポイントの大きな差がみられる。

(3) 光熱

光熱指数は、大都市が97.1、中都市が96.2、小都市A96.4、小都市B96.2、町村95.7とほとんど差がないが、ガス代については、小都市Aの108.3を最高にいずれの階級も東京都区部より高い。

(4) 被服

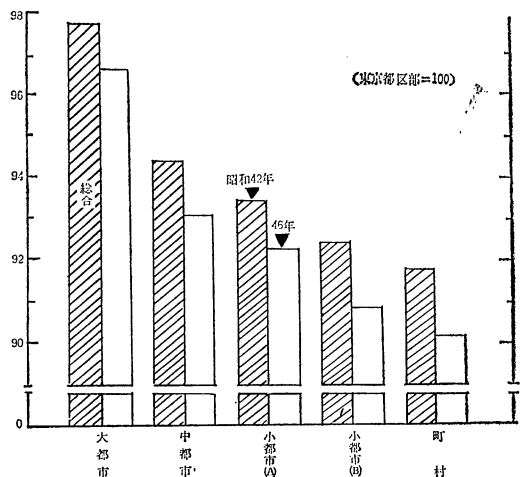
被服指数は、大都市が98.0、中都市96.2、小都市A92.8、小都市B93.3、町村92.4となり、東京都区部と町村間差は7.6ポイントとなっている。

(5) 雑費

雑費指数は、大都市95.9、中都市94.9、小都市A95.0、小都市B93.8、町村92.8と順に低くなっており、東京都区部と町村間差は7.2ポイントとなっている。

(県統計課消費統計係)

第1図 都市階級別地域差指数(総合指数)



主要經濟指標

1 主 要 經 經

茨 城 県

年 月	財政資金 対民間収 支	銀 行 勘 定		銀行券 増 減	手形交換高		不 渡 手 形		株 式 取引高	県 民 所 得	
		実 預 金	貸 出 金		枚 数	金 額	枚 数	金 額		純 生 産	分 配 所 得
	百万円	百万円	百万円	百万円	千枚	百万円	枚	百万円	百万円	百万円	百万円
昭和44年	△43,693	434,641	239,067	31,081	560	274,201	9,740	1,111	66,850	814,194	825,411
45	△44,896	765,166	470,270	...	593	338,391	11,218	1,596	83,727	1,001,723	1,012,298
46. 12	△ 2,901	14,837	17,237	18,015	138	62,228	1,574	269	...	...	...
47. 1	10,120	△10,517	△2,495	△18,935	100	50,403	1,372	153	13,406	...	...
2	4,452	2,613	7,733	311	108	45,589	1,538	166	13,129	...	...
3	△4,701	32,668	6,089	3,071	115	53,785	129	126	12,599	...	...
4	△8,471	p△533	p858	1,085	97	48,681	763	85	10,087	...	...
5	570	11,305	△5,797	△1,228	130	58,490	1,523	200	14,147	...	...
6	△7,391	12,474	9,012	5,919	121	60,113	1,073	139	15,861	...	...
7	8,521	11,221	11,388	△3,502	118	57,063	1,174	141	19,917	...	...
8	8,749	7,902	6,858	△6,355	118	57,253	1,148	139	21,437	...	...
9	△13,065	32,600	10,053	963	115	58,791	1,087	199	19,031	...	...
10	△10,895	2,055	5,436	2,819	117	65,466	1,125	162	...	...	...
11	△15,018	34,241	6,025	2,576	116	59,371	1,026	130	...	...	...
12	△2,763	24,143	32,283	30,642	130	73,056	783	160	...	...	...

(注) 県民所得は年度数值

全 国

年 月	財政資金 対民間収 支	全国銀行勘定		全国銀行 貸出約定 平均金利	銀行券 発行高	手形交換高		不 渡 手 形	
		実質預金	貸 出 金			枚 数	金 額	枚 数	金 額
	億円	億円	億円	(%)	億円	千枚	億円	千枚	億円
昭和44年	※△1,312	328,541	337,844	7.41	48,113	379,264	2,620,324	3,274	6,218
45	※1,447	380,094	394,793	7.66	55,560	439,166	3,189,805	3,407	7,796
46. 12	△5,215	487,593	490,480	7.457	64,077	42,302	377,090	198	510
47. 1	9,432	479,216	492,500	7.407	54,862	28,039	288,017	149	339
2	953	485,475	498,928	7.340	55,907	31,609	294,497	183	418
3	△2,127	505,731	511,022	7.273	56,862	33,622	351,220	170	449
4	△3,643	505,060	514,453	7.236	57,690	29,033	311,968	114	309
☆ 5	2,012	524,692	520,750	7.191	55,557	36,912	353,013	199	488
6	3,699	532,274	532,155	7.130	60,496	36,012	348,688	147	380
7	4,711	540,302	546,563	7.010	62,020	34,001	354,839	141	359
8	4,280	546,132	553,918	6.896	59,860	33,707	352,743	138	342
9	△3,319	565,843	569,631	6.811	61,379	32,997	382,116	137	366
10	△5,035	574,209	578,548	6.775	61,858	33,557	389,241	143	399
11	△8,470	594,487	590,226	6.751	63,982	33,409	377,884	139	385
12	849	...	...	...	83,107	...	...	...	...

(注) ※は年度数值 ☆印月以降は沖縄県を含む。

濟 指 標

百貨店 売上高	鉱工業 生産指数 (総合)	建 築 着 工		雇用指数 (総合)	賃金指数 (総合)	消費者 物価指数 (水戸・総 合・平均)	勞 働 市 場			年 月
		工 事 費 額 予 定	床 面 積				新規求職 人	新規求人 人	失業保險被 保險者總数 人	
百万円 11,396	r174.3	百万円 106,653	千㎡ 4,175	93.9	83.5	92.7	40,124	80,277	277,854	昭和44年
13,108	r192.8	160,129	5,228	100.0	100.0	100.0	42,154	78,980	294,646	45
2,014	237.5	13,702	416	99.6	265.9	108.4	3,958	3,389	308,256	46. 12
1,403	230.3	9,239	272	99.5	102.4	108.5	4,508	6,624	306,412	47. 1
912	255.0	12,004	324	99.1	94.1	109.1	3,840	5,586	305,911	2
1,562	243.0	16,643	457	99.1	98.3	110.2	4,720	6,665	309,755	3
1,553	234.6	13,106	365	101.5	100.5	110.9	4,181	6,626	314,693	4
1,405	249.2	10,503	317	101.0	102.4	110.6	4,057	6,299	316,621	5
1,457	259.9	11,537	333	101.2	212.6	110.3	3,539	5,955	318,269	6
1,919	259.2	13,126	396	100.5	159.6	110.2	3,704	6,147	319,547	7
1,360	248.2	16,996	521	99.9	108.5	110.7	3,968	8,868	318,989	8
1,463	273.1	16,038	428	99.7	109.8	111.8	3,592	9,677	318,844	9
1,627	...	16,680	502	100.1	109.7	112.7	3,626	9,003	319,206	10
1,750	...	18,296	504	101.2	108.9	111.7	2,914	6,779	321,235	11
3,156	...	...	...	...	...	112.0	3,067	6,179	...	12

資料：日本銀行水戸事務所 県統計課 建設省計画局調査統計課 県職業安定課

株 式 取 引 高	国 民 総 生 産	百貨店 売上高	鉱工業 生産指数 (総合)	建 築 着 工		雇用指数 (総合)	賃金指数 (総合)	消費者 物価指数	失業保險被 保險者總 数	年 月
				工 事 費 額 予 定	床 面 積					
億円 186,746	億円 629,204	億円 15,142	185.9	億円 53,401	千㎡ 182,748	97.0	85.5	92.9	千人 20,765	昭和44年
120,303	732,137	18,242	215.9	66,697	205,034	100.0	100.0	100.0	21,173	45
18,739		3,705	240.5	6,731	17,235	100.9	255.9	107.7	21,674	46.12
20,207	200,959	1,458	218.9	5,673	14,326	99.9	96.0	107.8	21,433	47. 1
20,301		1,472	233.5	5,597	14,716	99.4	92.9	108.2	21,386	2
20,064		1,973	256.1	8,505	21,671	p99.5	99.3	109.2	21,478	3
15,573	209,255	1,867	240.4	7,565	19,426	p101.9	99.0	110.3	21,863	4
17,938		1,752	236.6	7,078	18,343	p101.6	101.0	110.7	22,136	☆ 5
19,653		1,828	251.1	8,878	21,379	p101.5	173.6	110.7	22,416	6
24,301	220,424	2,615	250.8	8,355	21,178	p101.2	182.0	110.7	22,504	7
25,730		1,757	242.0	8,476	21,382	p100.6	114.1	112.2	22,445	8
23,321		1,721	p259.2	9,042	22,001	p100.3	109.7	113.0	...	9
28,704	...	2,171	...	9,214	22,600	p100.2	107.5	112.5	...	10
37,166		2,212	...	9,262	22,629	p100.6	111.1	113.4	...	11
...		...	...	...	...	...	...	...	...	12

資料：日本銀行統計局 通商産業省 建設省計画局調査統計課 総理府統計局



人 口

2 人 口

茨 城 県

2-1 世帯, 人口および人口移動

(単位: 世帯, 人)

年 月 日	世 帯 数	人 口			人 口 移 動					
		総 数	男	女	増減数	自 然 動 態		社 会 動 態		
						出 生	死 亡	転 入	転 出	
昭和40年10月1日	447,871	2,056,154	1,007,852	1,048,302	7,761	34,447	16,533	△10,153		
45.10. 1	508,537	2,143,551	1,054,003	1,089,548	37,413	38,228	17,214	16,399		
46.10. 1	525,585	2,180,835	1,075,835	1,105,758	23,417	40,061	16,644	10,801		
47. 1. 1	528,813	2,189,998	1,079,997	1,110,001	3,792	3,467	1,516	9,345	7,504	
2. 1	529,564	2,192,523	1,081,222	1,111,301	2,532	3,587	1,608	8,606	8,053	
3. 1	530,027	2,195,173	1,082,567	1,112,606	2,646	3,518	1,514	8,767	8,125	
4. 1	529,937	2,190,851	1,080,337	1,110,514	△4,275	3,525	1,628	15,328	21,500	
5. 1	533,287	2,194,604	1,082,525	1,112,079	3,788	3,197	1,386	17,900	15,923	
6. 1	535,202	2,198,453	1,084,763	1,113,690	3,703	3,498	1,328	10,888	9,355	
7. 1	536,183	2,201,452	1,086,294	1,115,158	2,981	3,300	1,223	8,814	7,910	
8. 1	536,938	2,204,765	1,087,996	1,116,769	3,298	3,403	1,193	8,453	7,365	
9. 1	537,676	2,208,504	1,089,929	1,118,575	3,710	3,474	1,241	8,750	7,273	
10. 1	537,960	2,210,636	1,090,757	1,119,879	2,119	3,459	1,201	7,825	7,964	
11. 1	538,754	2,214,058	1,092,721	1,121,337	<del>1,856</del> 3,428	3,536	1,264	9,334	8,178	
12. 1	539,597	2,217,165	1,094,429	1,122,736	<del>3,442</del> 3,094	3,445	1,342	8,400	7,409	
48. 1. 1	539.988	2,219,975	1,095,87 <sup>0</sup>	1,124,10 <sup>5</sup>	2,808	3,359	1,426	8,229	7,354	

(注) 人口移動のうち1 昭和40年~昭和46年については各年の年間数値を示す。  
2 昭和47年, 48年の月別人口移動については前月の月間数値を示す。

資料: 県統計課

2-2 市 町 村 別 人 口

(単位: 人)

市 町 村	昭和40年 10月	45年10月	47年 1 月	48年 1 月	市 町 村	昭和40年 10月	45年10月	47年 1 月	48年 1 月
総 数	2,056,154	2,143,551	2,189,998	2,219,975	竜ヶ崎市	34,917	37,267	37,686	38,302
市 部	965,795	1,064,697	1,087,759	1,103,109	那珂湊市	33,620	32,873	32,827	32,835
郡 部	1,090,359	1,078,854	1,102,239	1,116,866	下妻市	28,260	27,699	27,766	27,935
水戸市	154,973	173,789	179,919	184,588	水海道市	36,584	36,679	36,948	37,328
日立市	179,703	193,210	197,178	197,718	常陸太田市	36,974	35,470	35,405	35,383
土浦市	78,971	89,958	93,064	95,955	勝田市	52,625	66,754	70,769	73,377
古河市	50,202	54,173	54,808	55,100	高萩市	32,497	29,548	29,599	29,963
石岡市	36,789	39,508	40,368	40,995	北茨城市	55,334	48,323	46,057	44,079
下館市	51,717	53,863	54,743	55,450	笠間市	31,082	30,522	30,717	30,784
結城市	38,078	39,561	40,193	40,846	取手市	26,179	40,287	43,020	45,101

人 口

市 町 村	昭和40年 10月	45年10月	47年1月	48年1月	市 町 村	昭和40年 10月	年4510月	47年1月	48年1月
岩 井 市	33,459	35,213	36,692	37,370	稲 敷 郡	<b>110,082</b>	<b>111,969</b>	<b>114,612</b>	<b>116,849</b>
東 茨 城 郡	<b>128,867</b>	<b>127,920</b>	<b>128,553</b>	<b>128,750</b>	江 戸 崎 町	12,266	12,088	12,136	12,188
常 澄 村	9,393	9,094	9,083	9,038	美 浦 村	8,411	8,066	8,067	8,011
茨 城 町	29,439	28,956	29,645	29,988	阿 見 町	23,390	24,907	25,773	26,434
小 川 町	15,447	16,650	16,791	16,668	牛 久 町	17,203	19,372	21,185	22,746
美 野 里 町	14,381	14,872	14,949	15,194	荃 崎 村	6,253	6,461	6,571	6,666
内 原 町	12,695	12,935	12,931	13,062	新 利 根 村	8,943	8,621	8,606	8,558
常 北 町	11,154	10,785	10,793	10,717	河 内 村	12,158	11,720	11,678	11,598
桂 村	7,938	7,223	7,057	6,987	桜 川 村	8,178	7,882	7,831	7,813
御 前 山 村	6,425	5,751	5,621	5,529	東 村	13,280	12,852	12,765	12,835
大 洗 町	21,815	21,654	21,683	21,567	新 治 郡	<b>79,312</b>	<b>80,437</b>	<b>81,196</b>	<b>82,195</b>
西 茨 城 郡	<b>58,685</b>	<b>59,393</b>	<b>59,702</b>	<b>60,567</b>	出 島 村	16,861	16,582	19,707	16,728
友 部 町	19,714	20,462	20,699	21,272	玉 里 村	5,080	5,445	5,466	5,528
岩 間 町	13,719	14,121	14,185	14,355	八 郷 町	28,741	27,433	27,287	27,127
七 会 村	3,469	3,159	3,086	3,064	千 代 田 村	11,451	13,680	14,263	14,783
岩 瀬 町	21,783	21,651	21,732	21,876	新 治 村	8,240	8,355	8,450	8,424
那 珂 郡	<b>103,571</b>	<b>103,965</b>	<b>105,702</b>	<b>107,373</b>	桜 村	8,939	8,942	9,028	9,605
東 海 村	16,565	18,960	20,719	22,241	筑 波 郡	<b>84,937</b>	<b>83,779</b>	<b>86,102</b>	<b>86,900</b>
那 珂 町	30,006	31,213	31,590	31,934	谷 田 部 町	20,093	20,134	20,418	20,603
瓜 連 町	6,832	7,043	7,092	7,100	伊 奈 村	11,241	11,171	12,977	13,256
大 宮 町	23,635	23,306	23,290	23,416	谷 和 原 村	10,062	9,901	9,967	10,039
山 方 町	11,805	10,559	10,366	10,226	豊 里 町	10,497	10,409	16,429	10,576
美 和 村	7,515	6,589	6,392	6,327	筑 波 町	22,091	21,308	21,414	21,428
緒 川 村	7,213	6,295	6,253	6,129	大 穂 町	10,953	10,856	10,899	10,998
久 慈 郡	<b>67,875</b>	<b>60,624</b>	<b>59,280</b>	<b>58,397</b>	真 壁 郡	<b>73,394</b>	<b>71,965</b>	<b>72,122</b>	<b>72,711</b>
金 砂 郷 村	13,554	12,237	11,993	11,792	関 城 町	14,368	14,226	14,326	14,453
水 府 村	10,580	9,314	8,977	8,779	明 野 町	16,682	16,091	16,093	16,223
里 美 村	6,980	6,120	5,999	5,847	真 壁 町	20,809	20,312	20,304	20,292
大 子 町	36,761	32,953	32,311	31,979	大 和 村	7,522	7,206	7,175	7,165
多 賀 郡	<b>10,346</b>	<b>9,646</b>	<b>9,706</b>	<b>9,744</b>	協 和 町	14,016	14,130	14,224	14,578
十 王 町	10,346	9,646	9,706	9,744	結 城 郡	<b>49,080</b>	<b>48,231</b>	<b>48,426</b>	<b>48,619</b>
鹿 島 郡	<b>113,010</b>	<b>129,179</b>	<b>139,597</b>	<b>143,501</b>	八 千 代 町	22,687	21,945	21,948	21,923
旭 村	10,759	10,151	10,110	10,068	千 代 川 町	7,912	7,813	7,815	7,848
鉾 田 町	26,939	26,165	26,263	26,401	石 下 町	18,481	18,473	18,663	18,848
大 洋 村	9,331	8,803	8,898	9,016	猿 島 郡	<b>83,813</b>	<b>87,281</b>	<b>90,231</b>	<b>92,769</b>
大 野 村	9,779	9,524	9,867	10,013	総 和 町	21,023	24,999	27,206	28,615
鹿 島 町	16,305	25,176	29,672	31,156	五 霞 村	8,668	8,382	8,365	8,434
神 栖 町	15,820	22,173	25,205	26,263	三 和 町	18,380	18,487	18,788	19,082
波 崎 町	24,077	27,187	29,582	30,584	猿 島 町	14,053	13,640	13,660	13,757
行 方 郡	<b>68,169</b>	<b>67,594</b>	<b>69,200</b>	<b>69,698</b>	境 町	21,689	21,773	22,212	22,881
麻 生 町	18,852	18,063	18,025	18,138	北 相 馬 郡	<b>33,219</b>	<b>36,871</b>	<b>37,810</b>	<b>38,793</b>
牛 堀 町	6,466	6,569	6,753	6,743	守 谷 町	11,475	12,300	12,672	12,927
潮 来 町	17,111	18,436	20,167	20,557	藤 代 町	13,002	16,309	16,925	17,671
北 浦 村	11,611	10,949	10,724	10,759	利 根 町	8,742	8,262	8,213	8,195
玉 造 町	14,129	13,577	13,531	13,501					

(注) 40年、45年は国勢調査結果、ただし、47年、48年については推計人口。

資料：県統計課

労働

3 労働

茨城県 3-1 現金給与総額 (単位：1人1カ月当たり、円)

年 月	調査産業総数	鉱業	建設業	製造業	卸売・ 小売業	金融・ 保険業	運輸・ 通信業	電気・ガス・ 水道業
昭和44年	57,788	63,389	50,514	56,992	44,465	67,517	68,302	89,484
45	67,429	78,173	68,842	64,558	57,113	80,645	80,507	100,098
46	78,153	87,714	82,110	74,830	63,424	90,421	96,651	108,524
46. 11月	64,446	80,427	69,495	61,926	51,627	89,554	80,717	81,137
12	179,261	195,036	179,887	170,190	140,132	244,617	218,458	277,108
47. 1	69,078	76,582	69,446	63,721	59,036	68,560	78,486	82,978
2	63,464	80,844	68,733	60,775	50,699	70,236	78,880	81,924
3	66,256	83,467	79,240	61,855	56,209	77,942	84,282	88,061
4	67,791	77,607	71,617	64,849	55,989	70,726	87,132	86,319
5	69,027	79,139	68,479	67,651	55,166	64,999	83,328	104,030
6	143,348	112,068	120,469	142,125	84,232	183,481	168,534	261,197
7	107,643	164,100	143,596	103,321	92,003	113,531	122,614	102,391
8	73,129	94,316	75,988	70,081	67,577	75,789	88,102	99,182
9	74,041	86,057	76,906	70,349	57,225	73,813	101,978	99,734
10	73,990	89,715	79,752	70,721	58,519	74,711	97,113	97,521
11	73,435	90,258	79,771	70,718	59,334	76,268	91,475	94,517

(注) 1 3年ごとに標本抽出替えがおこなわれるため実数を直接比較することはできない。 資料：県統計課  
2 規模30人以上の事業所

茨城県 3-3 産業別雇用

区分 昭和45年の 実数 年 月	調査産業総数				鉱業		建設業		
	雇用		賃金		雇用	賃金	雇用	賃金	
	対前月(年) 比較	対前月(年) 比較	対前月(年) 比較	対前月(年) 比較					
	219,537人		67,429円			4,983人	78,173円	9,609人	68,842円
昭和44年	93.9	11.1	83.5	10.1	133.6	82.2	89.1	88.2	
45	100.0	6.1	100.0	16.5	100.0	100.0	100.0	100.0	
46	101.0	1.0	115.9	15.9	70.9	112.2	105.2	119.3	
46. 11月	99.8	0.2	95.6	△ 2.9	46.2	102.9	107.6	100.9	
12	99.6	△ 0.2	265.9	170.3	46.9	249.5	114.8	261.3	
47. 1	99.5	△ 0.1	102.4	△ 163.5	45.6	98.0	115.7	100.9	
2	99.1	△ 0.4	94.1	△ 8.3	45.1	103.4	115.0	99.8	
3	99.1	—	98.3	4.2	45.0	106.8	118.9	119.1	
4	101.5	2.4	100.5	2.2	44.3	99.3	115.6	104.0	
5	101.0	△ 0.5	102.4	1.9	44.0	101.2	104.2	99.5	
6	101.2	0.2	212.6	110.2	44.1	143.4	105.3	175.0	
7	100.5	△ 0.7	159.6	△ 53.0	44.1	209.9	105.2	208.6	
8	99.9	△ 0.6	108.5	△ 51.1	43.3	120.7	104.0	110.4	
9	99.7	△ 0.2	109.8	1.3	42.5	110.1	101.9	111.7	
10	100.1	0.4	109.7	△ 0.1	41.8	114.8	104.0	115.8	
11	101.2	1.1	108.9	△ 0.8	42.2	115.5	111.9	115.9	

(注) 規模30人以上の事業所

労 働

茨 城 県

3-2 労 働 時 間

(単位：1人1カ月当たり，時間)

年 月	調査産業 総 数	対 前 月 (年)比較	鉱 業	建設業	製造業	卸 売 小売業	金融・ 保険業	運輸・ 通信業	電気・ ガス・ 水道業	所定内労働時間	
										全産業	製造業
昭和44年	191.3	△ 2.8	195.6	158.8	192.8	198.6	163.4	192.7	168.6	167.8	168.3
45	189.4	△ 1.9	195.3	192.1	189.8	188.3	171.8	193.5	172.2	169.2	168.9
46	184.7	△ 4.7	194.1	197.7	183.7	185.0	166.7	192.6	172.2	168.3	168.3
46.11月	189.3	5.1	193.7	210.7	189.8	188.3	158.0	193.8	165.6	173.6	175.2
12	188.2	△ 1.1	193.9	211.1	185.9	188.7	173.6	199.1	173.7	171.5	170.6
47. 1	171.6	△16.6	177.2	187.6	169.1	172.7	150.2	188.1	162.1	158.1	157.1
2	183.8	12.2	192.1	204.3	183.7	184.4	157.1	187.4	164.3	168.0	168.4
3	183.2	△ 0.6	193.2	205.6	181.7	181.9	167.3	190.2	173.2	166.4	165.6
4	192.3	9.1	192.5	193.4	194.3	190.5	165.4	195.1	170.0	175.7	178.2
5	171.6	△20.7	183.8	175.2	169.4	175.1	159.9	186.4	162.8	156.4	154.9
6	193.0	21.4	198.1	206.1	193.4	191.7	169.0	197.6	180.3	176.1	177.0
7	190.4	△ 2.6	197.4	205.3	191.2	186.4	167.7	192.4	178.9	172.9	174.2
8	176.5	△13.9	179.5	199.7	172.2	181.8	169.8	192.4	183.1	161.2	158.0
9	189.9	13.4	198.6	201.0	191.3	188.6	158.8	194.0	164.1	172.0	173.6
10	185.2	△4.7	190.2	204.4	185.0	181.8	162.1	192.6	171.2	167.3	167.4
11	188.3	3.1	190.5	207.2	187.8	186.4	161.0	198.8	164.3	169.5	169.3

(注) 規模30人以上の事業所

資料：県統計課

賃 金 指 数

(昭和45年=100)

製 造 業		卸 売・小 売 業		金 融・保 險 業		運 輸・通 信 業		電 気・ガ ス・水 道 業	
雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金
152,049人	64,558円	15,781人	57,113円	9,596人	80,645円	24,639人	80,507円	2,585人	100,098円
93.2	82.9	91.2	98.0	85.5	79.0	94.0	87.6	98.3	89.9
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.8	115.6	102.5	111.1	110.8	112.1	101.0	120.1	98.6	108.4
99.5	95.9	102.4	90.4	110.4	85.0	103.1	100.3	100.2	81.1
98.9	263.6	102.3	245.4	109.6	303.3	102.9	271.4	99.6	276.8
98.8	98.7	102.2	103.4	107.4	85.0	103.0	97.5	99.8	82.9
98.5	94.1	100.2	88.8	107.7	87.1	102.7	98.0	99.4	81.8
98.3	95.8	100.0	98.4	109.9	96.6	101.7	104.7	100.1	88.0
101.1	100.5	102.3	98.0	115.9	87.7	103.4	108.2	102.1	86.2
101.1	104.8	101.9	96.6	116.4	80.6	102.8	103.5	101.4	103.9
101.3	220.1	101.0	147.5	116.8	227.5	104.6	209.3	100.5	260.9
100.5	160.0	100.7	161.1	115.6	140.8	103.7	152.3	101.3	102.3
99.8	108.6	100.6	118.3	115.9	94.0	102.9	109.4	100.9	99.1
100.0	109.0	99.0	100.2	116.2	91.5	101.8	123.7	101.5	99.6
100.8	109.5	99.0	102.5	114.7	92.6	101.4	120.6	101.2	97.4
101.6	109.5	99.8	103.9	115.1	94.6	101.6	113.6	101.1	94.4

資料：県統計課

農 業

4 農 業

茨 城 県

4-1 農 産 物 の 平 均 販 売 価 格

(単位：円)

年 月	うるち米 (玄米60kg)	生 乳 (飲用10kg)	鶏 卵 (10kg)	肉 豚 (生体10kg)	乳用牛 (めす, 生 後6カ月 ホルスタ イン純種 (1頭当たり))	だいこん (1kg当たり)	きゃべつ (1kg当たり)	きゅうり (1kg当たり)
昭和44年12月	8,467	500	2,341	2,469	66,330	16	24	82
45	8,233	498	2,386	2,698	63,000	26	38	85
46.12	8,433	533	2,277	2,604	69,667	16	25	151
47. 1	8,433	523	1,562	2,545	69,667	21	23	169
2	8,433	533	1,630	2,511	69,667	14	19	254
3	8,433	555	2,158	2,641	69,667	13	40	160
4	8,400	536	1,892	2,701	81,333	16	28	135
5	8,367	534	1,578	2,608	81,333	27	34	113
6	8,333	536	1,529	2,595	81,333	12	13	48
7	8,300	533	1,663	2,719	80,333	14	8	67
8	8,383	533	1,682	2,716	80,333	29	23	70
9	8,217	533	1,797	2,628	80,333	15	14	46
10	8,217	536	2,148	2,487	82,000	17	9	68
11	8,917	532	2,374	2,500	83,667	18	8	138
12	8,983	532	2,543	2,515	90,333	17	13	290

(注)昭和44年以降の価格は、それぞれの代表生産地における価格である。資料：農林省茨城統計情報事務所  
また、だいこん、きゃべつ、きゅうりは水戸市公設地方卸売市場の卸売価格による。水戸市公設地方卸売市場

茨 城 県

4-2 農 業 用 品 の 購 入 価 格

(単位：円)

年 月	乳用牛 (成畜めす ホルスタ イン純種 (1頭当たり))	子 豚 (めす, 生 後60~90 日, ラン ドレース (1頭当たり))	硫 安 (N 21% 樹脂袋 40kg)	過りん酸 石 灰 (紙袋40 kg, 可溶 性りん酸 17%)	複合肥料 (N8%, P 8%, K5 %, 樹脂 袋30kg)	配合飼料 (成鶏用, 紙袋20kg 粗たん白 15~19%)	配合飼料 (乳牛用, 紙袋30kg 粗たん白 15~18% 以上)	M.E.P乳剤 (スミチオン) (ニコチン 含量50% 100cc)
昭和44年12月	201,250	7,750	728	576	656	794	1,055	...
45	193,750	6,200	723	638	621	945	746	...
46. 12	202,500	8,375	736	665	638	935	752	180
47. 1	205,000	7,875	724	653	633	916	733	180
2	205,000	8,925	724	653	633	916	725	195
3	207,500	10,500	724	658	651	916	725	195
4	220,000	11,250	727	680	655	911	725	200
5	222,500	10,875	727	677	655	879	717	200
6	222,500	10,875	727	677	655	879	717	190
7	222,500	10,500	727	677	655	879	717	190
8	222,500	10,625	723	677	650	879	717	190
9	242,500	10,625	723	675	662	879	717	190
10	248,750	10,125	723	675	662	758	717	190
11	259,000	9,375	723	675	662	758	717	190
12	259,000	9,000	723	675	662	758	717	190

(注) 昭和44年以降の価格は農業地域代表市町村の価格である。

資料：農林省茨城統計情報事務所

5 鉱工業

茨城県

鉱工業生産指数

(昭和40年=100)

産 業 品 目 数 ウ ェ ィ ト	産業総合		鉱工業	鉱業				製造工業	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	機械工業
	産業総合	公益事業	鉱工業	石炭・ 亜鉛	炭・ 亜鉛	金属 鉱業	非金属 鉱業	製造工業	鉄鋼業	非鉄金 属工業	金属製 品工業	機械工業 一般機械
	123	2	121	8	1	5	2	113	5	7	5	15
年月	100.00	0.39	99.61	5.48	56.59	28.34	15.07	94.52	1.72	7.31	3.27	13.89
昭和44年	175.9	585.4	174.3	97.0	89.1	98.9	123.3	178.8	174.7	154.8	211.5	205.8
45	197.0	522.1	192.8	96.9	87.9	94.0	136.1	201.3	251.5	149.6	199.1	283.5
46	236.4	3,525.0	223.5	188.7	77.2	92.6	124.6	226.6	269.8	142.9	274.1	274.8
46. 9	246.5	4,110.4	231.4	74.4	58.6	90.4	103.4	240.5	287.2	118.8	239.8	337.6
10	241.0	4,566.5	224.1	75.2	55.9	83.3	132.4	232.8	273.9	126.6	272.5	281.8
11	249.3	5,054.6	230.5	69.6	48.4	77.9	133.5	239.8	284.5	133.7	263.0	226.8
12	261.0	6,256.1	237.5	65.3	32.3	93.0	137.0	247.5	287.8	152.7	300.7	217.8
47. 1	245.7	4,167.3	230.3	59.8	28.6	81.9	135.1	240.2	294.8	150.9	262.5	258.4
2	274.1	5,141.5	255.0	62.4	34.8	77.5	137.1	266.2	270.3	155.2	299.4	312.2
3	268.2	6,692.7	243.0	62.0	32.2	79.4	141.6	253.5	264.9	181.7	287.7	257.0
4	257.5	6,107.5	234.6	57.7	27.5	75.2	137.9	244.8	278.4	159.2	551.0	253.3
5	274.4	6,726.4	249.2	54.7	28.2	66.9	130.9	260.5	290.2	160.7	633.9	307.1
6	288.7	7,641.8	259.9	60.3	36.4	66.9	137.5	271.5	306.9	169.0	660.3	389.5
7	291.9	8,638.2	259.2	56.8	34.7	57.0	139.5	270.9	306.2	161.5	854.2	348.9
8	281.8	8,871.6	248.2	61.4	39.0	61.7	144.9	259.0	280.7	161.1	704.5	293.1
9	301.8	7,653.6	273.1	64.2	39.5	73.0	140.1	285.2	317.8	160.4	1,054.4	340.0

産 業 品 目 数 ウ ェ ィ ト	鉱工業											
	製 造 工 業											その 他の 工業
	機 械 工 業			窯 業・ 石 土 製 品 工 業	化 学 工 業	石 油 石 炭 製 品 工 業	皮 製 革 工 業	パ ル プ・ 紙・紙 加 工 品 工 業	繊 維 工 業	木 材 木 製 品 工 業	食 料 品 た ば こ 工 業	
年月	24	5	5	4	11	1	2	3	12	1	10	8
昭和44年	77.62	3.78	4.71	4.69	2.72	0.18	0.48	1.26	3.89	3.18	12.38	6.80
45	188.2	231.1	78.0	126.5	198.1	81.8	74.3	188.7	181.7	124.6	191.2	166.6
46	194.4	265.0	91.7	134.4	308.2	1,726.8	77.0	207.2	195.3	170.4	208.3	195.9
46. 9	192.4	275.7	81.5	133.7	1,182.6	2,718.2	87.4	200.6	183.7	164.2	207.7	261.2
46. 9	211.7	293.6	48.8	122.6	1,221.5	3,304.4	92.1	201.0	161.8	153.1	179.3	307.2
10	186.3	365.5	72.0	126.2	1,332.7	2,776.0	87.1	207.6	168.8	150.3	191.7	294.1
11	197.9	327.0	70.5	143.2	1,361.6	2,770.0	99.2	210.7	186.6	185.9	194.6	331.8
12	203.4	351.8	72.7	166.0	1,317.1	3,694.0	93.6	220.6	206.7	194.1	193.9	340.2
47. 1	172.5	300.5	52.6	109.5	1,338.5	3,342.5	91.0	209.4	215.3	174.9	277.0	308.8
2	229.9	323.7	44.9	151.9	1,376.3	3,128.6	129.5	218.5	215.5	174.9	219.0	335.2
3	192.0	410.1	53.3	162.5	1,236.5	3,249.8	248.1	215.0	227.9	188.6	261.0	331.6
4	189.3	283.1	43.7	132.1	1,298.9	2,982.9	99.1	218.9	239.2	174.9	176.8	320.4
5	212.6	305.1	48.3	107.5	1,285.5	2,455.8	89.8	249.4	226.4	180.4	132.3	333.2
6	205.7	323.0	116.2	145.4	1,322.3	1,500.7	229.4	259.9	212.4	166.7	234.2	279.5
7	187.4	281.5	50.6	149.0	1,410.4	1,308.5	297.9	265.2	197.4	180.4	240.5	328.3
8	167.1	300.5	57.6	176.8	1,482.5	3,566.3	234.9	261.1	196.8	183.1	216.0	347.1
9	199.6	333.3	53.7	148.2	1,469.9	2,424.8	235.3	270.4	221.2	196.8	213.4	343.3

資料：県統計課

金融

6 金融

茨城県

6-1 金融機関別実質

年月末	総額		銀行		相互銀行		信用金庫	
	預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出
昭和44年12月末	629,849	372,008	371,388	206,763	64,118	45,528	55,160	40,828
45	765,166	470,270	447,476	259,180	80,413	59,513	68,094	51,699
46	919,253	567,884	535,716	311,956	100,993	75,704	85,103	63,029
47. 1	894,195	560,649	525,199	309,461	97,637	74,724	83,647	61,798
2	894,178	573,526	527,812	317,194	98,079	76,657	84,043	63,010
3	937,226	589,306	560,480	323,283	104,524	80,618	86,034	63,982
4	935,318	591,221	559,947	324,141	103,044	79,997	86,599	64,047
5	952,270	589,869	571,252	318,344	105,087	81,348	88,222	64,850
6	980,913	603,861	583,726	327,366	109,575	83,631	91,352	66,314
7	999,749	620,334	594,947	338,744	109,703	84,238	94,315	68,083
8	1,018,564	631,686	602,849	345,602	112,854	86,554	97,118	69,634
9	1,070,997	652,177	635,449	355,655	79,830	91,590	99,950	72,666
10	1,087,697	661,192	637,504	301,091	120,327	92,833	103,497	74,812
11	1,134,888	673,158	671,745	367,116	125,034	95,816	106,203	77,717
12	1,198,136	720,258	695,888	399,399	135,783	101,985	115,617	82,498
48. 1 p	1,186,208	712,888	688,155	395,153	131,771	101,233	114,831	82,232

茨城県

6-2 銀行の業種別貸出先数および貸出残高

(単位:百万円)

産業	40年3月		43年3月		44年3月		45年3月		46年3月	
	貸出先数	金額	貸出先数	金額	貸出先数	金額	貸出先数	金額	貸出先数	金額
合計	36,375	114,351	49,636	146,887	58,968	173,862	82,723	211,904	100,249	265,186
製造業	5,413	56,255	5,960	60,322	6,319	68,908	6,729	79,479	7,034	98,106
食料品	1,583	7,557	1,448	10,407	1,446	11,364	1,457	12,033	1,350	12,780
繊維品	576	4,225	631	4,148	687	4,396	717	4,683	729	5,326
木材・木製品	1,007	3,271	1,111	4,626	1,106	5,221	1,148	5,671	1,121	6,378
化学工業	88	5,956	77	6,167	91	7,548	110	8,967	149	11,454
非鉄金属	19	3,792	35	4,629	32	5,607	36	5,772	57	6,512
電気機械器具	332	13,196	411	10,196	453	11,913	494	14,807	559	18,597
輸送用機械器具	53	4,327	64	5,727	75	6,100	91	6,530	100	7,694
農業	9,527	2,213	12,641	3,557	14,885	4,745	17,596	5,906	18,441	6,800
林業	40	113	44	131	63	166	65	133	53	171
漁業・水産養殖業	176	1,475	215	1,753	219	1,987	267	1,787	348	1,628
鉱業	142	3,622	122	3,047	144	3,495	156	3,866	137	4,564
建設業	927	3,765	1,714	5,561	1,993	7,038	2,557	8,966	3,196	11,107
卸売小売業	11,029	27,278	12,886	44,069	13,075	51,429	14,143	61,067	14,291	72,852
卸売	2,110	15,228	2,169	22,906	2,295	25,615	2,479	29,514	2,616	35,559
小売	8,919	12,050	10,717	21,163	10,780	25,814	11,664	31,553	11,675	37,293
金融・保険業	47	2,143	51	1,118	57	1,419	48	896	44	891
不動産業	105	4,538	210	6,859	262	9,152	318	16,401	385	26,874
運輸通信業	420	3,007	555	2,366	591	3,183	692	4,865	713	5,989
電気・ガス・水道業	4	159	8	314	15	286	25	487	32	693
サービス業	2,240	6,620	3,466	9,960	4,078	11,722	4,529	13,463	4,843	17,337
その他	6,305	3,163	11,764	7,830	17,267	10,332	35,598	14,588	50,732	18,174

(注) 製造業の内訳は主要なもののみ。また、その他は地方公共団体、個人の合計。資料：日本銀行統計局

金融・運輸

預金・貸出残高

(単位：百万円)

信用組合		労働金庫		商工中金		農協		漁協		年月末
預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出	
39,112	29,933	5,642	4,165	1,656	6,333	61,400	33,659	1,373	4,799	昭和44年12月
49,060	37,039	7,302	6,144	2,285	7,932	108,845	43,622	1,691	5,141	45
60,193	42,652	9,386	7,092	2,903	9,727	123,074	52,625	1,885	5,099	46
57,620	41,465	9,471	6,981	2,838	9,749	115,996	51,470	1,787	5,001	47. 1
58,236	43,320	9,524	7,003	2,936	10,082	111,761	51,259	2,128	4,824	2
61,405	45,565	10,070	7,328	2,777	10,031	109,808	53,675	2,919	5,693	3
60,329	44,889	9,818	7,172	2,919	10,438	109,976	55,266	2,287	5,271	4
60,761	45,569	9,696	7,474	3,264	10,319	111,578	56,759	2,410	5,206	5
62,526	45,154	10,451	7,511	3,648	10,844	117,068	58,049	2,567	5,002	6
63,645	46,501	10,164	7,808	3,313	11,293	121,106	58,403	2,556	5,262	7
65,004	46,350	10,766	7,935	3,554	11,533	124,245	58,753	2,174	5,325	8
68,338	47,703	10,821	8,171	3,635	11,974	130,885	59,118	2,089	5,300	9
68,379	47,969	10,828	8,349	3,683	12,293	141,234	58,463	2,245	5,382	10
70,237	49,258	11,085	8,635	3,953	12,965	144,171	56,374	2,460	5,277	11
77,712	52,526	12,497	8,568	3,841	13,316	155,241	56,610	2,257	5,356	12
75,373	51,357	12,347	8,196	3,974	13,211	157,500	56,150	2,257	5,356	48. 1

資料：日本銀行水戸事務所

7 運輸

鉄道貨物品種別輸送状況

(単位：百トン)

茨城県

年度・月	総量	鉱産品	林産品	農産品	畜産品	水産品	金属機器	化学	食料	繊維	その他
							工業品	工業品	工業品	工業品	
昭和44年度	65,558	31,462	1,147	4,421	20	1,267	4,175	18,070	763	1,014	3,219
45	65,711	30,829	1,182	4,327	11	1,015	4,482	19,089	715	974	3,087
46	56,953	21,805	1,007	4,754	12	1,039	4,365	19,637	652	734	1,161
46年11月	5,034	1,930	69	456	1	138	374	1,631	50	53	332
12	5,022	1,729	87	448	1	106	402	1,874	59	63	253
47. 1	4,130	1,474	62	382	1	82	332	1,492	47	42	216
2	4,647	1,622	77	379	0	66	364	1,791	50	45	102
3	5,042	1,704	76	421	1	96	429	1,933	60	51	108
4	3,543	1,317	59	223	1	63	261	1,329	47	40	202
5	4,368	1,666	70	366	1	97	346	1,487	54	46	234
6	3,967	1,554	64	250	1	89	284	1,449	43	36	197
7	4,117	1,554	57	354	1	94	307	1,512	50	34	212
8	3,961	1,427	59	367	1	44	311	1,433	77	38	203
9	4,368	1,647	60	347	1	142	304	1,542	50	41	231
10	4,341	1,677	53	377	1	147	349	1,406	58	48	225
11	4,549	1,585	53	450	1	163	340	1,611	67	40	239

注) 数値は国鉄および民鉄の合計である。

資料：水戸鉄道管理局

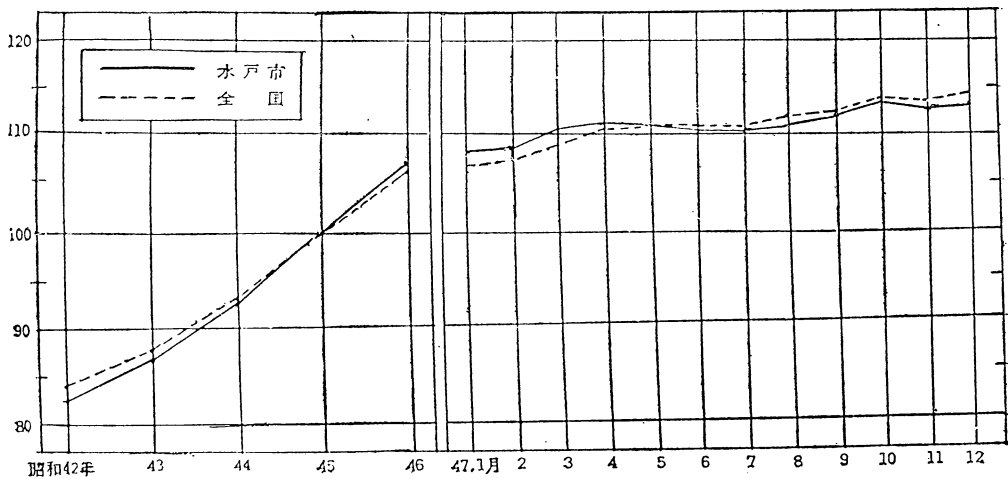


物 価

8 物 価

消費者物価指数

昭和45年=100



8-2 物 価

価

水戸市

年 月	消費者物価指数 (昭和45年=100)							
	総 合	対前月 対前年 比較	食 料	住 居	光 熱	被 服	雑 費	
昭和44年	92.7	5.7	91.3	90.8	97.7	93.3	94.5	
45	100.0	7.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
46	106.9	6.9	107.0	106.4	104.3	109.2	106.2	
46.12月	108.4	0.0	107.2	107.7	106.3	114.2	107.7	
47.1	108.5	0.1	107.3	108.9	105.9	113.9	107.8	
2	109.1	0.6	108.2	109.3	105.6	113.2	108.9	
3	110.2	1.1	110.6	109.3	105.6	113.1	109.4	
4	110.9	0.7	111.3	109.9	105.4	111.9	111.1	
5	110.6	△0.3	109.0	110.4	105.2	114.5	111.6	
6	110.3	△0.3	107.6	110.5	105.2	117.2	111.2	
7	110.2	△0.1	106.5	112.4	105.2	117.8	111.2	
8	110.7	0.5	108.0	113.0	105.2	116.4	111.6	
9	111.8	1.1	109.7	113.1	105.7	119.7	111.4	
10	112.7	0.9	110.9	113.4	105.8	121.2	111.8	
11	111.7	△1.0	107.9	113.8	105.8	121.3	112.0	
12	112.0	0.3	107.8	114.3	106.0	121.3	113.0	

資料：県統計課

物 価

8-1 費目別物価上昇寄与率

水戸市

品 目	40年	41	42	43	44	45	46
総 合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食 料	51.8	28.9	45.7	47.4	48.2	49.9	39.5
主 食	13.2	8.6	7.1	12.9	9.1	9.1	1.8
その 他の 食料	生鮮魚介	8.1	1.2	8.7	10.6	8.3	8.4
	肉 類	0.5	1.2	4.2	4.7	3.3	1.9
	野 菜	13.5	—	11.4	—	1.5	1.4
	果 物	2.0	8.7	—	0.6	2.5	—
住 居	9.0	13.6	12.7	11.9	14.7	15.3	10.7
家 質 地 代	5.7	7.7	3.4	2.5	1.8	3.4	2.2
設 備 修 繕	0.4	4.0	8.3	8.2	10.0	7.2	5.7
光 熱	0.4	—	1.1	1.0	1.2	1.3	2.5
被 服	13.6	10.9	5.5	10.3	12.4	11.4	18.3
雑 費	25.2	46.6	35.0	29.4	23.5	22.1	29.0
交 通 通 信	1.4	15.1	6.2	2.4	1.3	2.8	4.5
教 育	3.8	10.7	11.2	10.3	4.8	3.3	4.4
教 養 娛 楽	14.2	19.3	15.4	8.4	11.9	8.4	15.1

(注) 昭和40年基準

資料：県統計課

指 数

全 国

全 国 合 計	消費者物価指数 (昭45年=100)			農 産 物 物 価 指 数 (昭和45年 度=100)	卸 売 物 価 指 数 (昭40年=100)	戦前基準指数 (昭9~11年平均=1.0)		年 月
	対前月(年)比較	人口5万人 以上の都市	東京都区部			消費者物価 指 数 (東京都区部)	卸売物価 指 数	
92.9	4.7	92.7	93.3	97.3	107.4	538.9	385.9	昭和44年
100.0	7.1	100.0	100.0	100.0	111.3	577.9	399.9	45
106.1	6.1	106.2	106.3	102.2	110.5	614.3	397.2	46
107.7	0.0	107.8	108.2	105.4	109.8	625.3	394.6	46.12
107.8	△0.1	107.9	108.3	102.1	109.8	625.9	394.6	47.1
108.2	0.4	108.4	108.8	104.6	110.0	628.7	395.3	2
109.2	1.0	109.3	109.5	107.1	110.3	632.8	396.4	3
110.3	1.1	110.5	110.4	108.5	110.6	638.0	397.5	4
110.7	0.4	110.9	111.1	111.3	110.6	642.0	397.5	5
110.7	0.0	110.9	111.1	106.2	110.7	642.0	397.9	6
110.7	0.0	110.8	111.2	104.6	110.9	642.6	398.6	7
111.6	0.9	111.8	112.0	104.2	111.7	647.2	401.4	8
112.2	0.6	112.5	113.2	...	112.7	654.2	405.0	9
113.0	0.8	113.2	113.4	...	113.8	655.3	409.0	10
112.5	△0.5	112.7	113.2	...	116.4	654.2	418.3	11
113.4	0.9	...	...	...	...	...	...	12

資料：総理府統計局 農林省統計調査部 日本銀行統計局

家 計

9 家 計

9-1 家 計 主 要 指 標

(単位：円，%)

年 月	勤 勞 者 世 帯								全 世 帯		消費者
	実 収 入	(1) 可 処 分 所 得	消 費 支 出	(2) 黒 字	貯 蓄 純 増	(3) 平 均 消 費 性 向	(4) 実 質 収 入 指 数	(4) 実 質 消 費 支 出 指 数	消 費 支 出	(5) エンゲル 係 数	物 価 指 数
水 戸 市											
昭和44年	98,937	88,721	73,957	14,764	41,663	83.4	89.7	90.4	71,823	31.8	94.5
45	116,677	106,180	86,608	19,572	53,177	81.6	100.0	100.0	84,993	30.1	100.0
46. 9	103,263	94,637	84,842	9,795	6,248	89.7	82.6	91.4	79,450	35.5	107.2
10	108,179	98,416	90,680	7,736	△1,139	92.1	86.4	97.6	82,638	33.8	107.3
11	98,899	88,998	103,458	△14,459	△23,509	116.2	78.2	110.2	95,563	28.7	108.4
12	368,218	336,481	175,957	160,524	115,944	52.3	291.1	184.4	151,334	25.9	108.4
47. 1	98,163	89,052	88,794	258	5,586	99.7	77.5	94.5	86,156	26.9	108.5
2	106,273	96,410	99,419	△3,008	△8,783	103.1	83.5	105.2	98,469	25.8	109.1
3	124,819	113,353	105,630	7,723	3,318	93.2	97.1	110.7	95,727	30.1	110.2
4	117,802	106,725	99,264	7,461	△5,677	93.0	91.0	103.4	89,564	30.5	110.9
5	111,606	99,841	93,275	6,566	△9	93.4	95.0	100.2	100,611	29.9	111.6
6	220,180	199,663	108,075	91,589	59,517	54.1	171.1	113.1	108,075	27.7	110.3
7	156,882	140,011	99,242	40,769	33,097	70.9	122.0	104.0	95,734	30.3	110.2
8	98,621	89,388	97,402	△8,014	△12,716	109.0	76.4	101.6	89,643	33.6	110.7
9	112,276	100,337	100,556	△218	△5,013	100.2	86.1	103.9	90,639	31.3	111.8
全 国											
昭和44年	97,667	89,865	72,603	17,262	10,855	80.8	93.1	94.6	70,386	34.6	92.9
45	112,949	103,634	82,582	21,052	13,480	79.7	100.0	100.0	79,531	34.1	100.0
46. 9	100,750	92,648	84,223	8,425	5,812	90.9	82.1	93.9	81,374	36.0	108.6
10	103,504	94,696	88,111	6,585	1,559	93.0	84.2	98.1	85,488	35.1	108.8
11	101,785	93,272	85,982	7,290	2,245	92.2	83.7	96.7	84,444	34.3	107.7
12	284,927	264,308	142,954	160,524	86,257	54.1	234.3	160.7	130,689	30.8	107.7
47. 1	98,554	90,534	84,033	6,501	10,359	92.8	81.0	94.4	82,956	29.7	110.3
2	100,459	91,816	81,485	10,331	2,981	88.7	82.2	91.2	80,491	34.1	108.2
3	116,729	106,623	98,351	8,272	889	92.2	94.6	109.1	95,685	31.9	109.2
4	109,159	98,954	94,493	8,272	△842	95.5	87.6	103.7	92,305	32.3	110.3
5	106,853	97,275	91,097	6,178	2,570	93.6	85.5	99.6	89,869	34.9	110.7
6	178,048	163,177	97,858	65,319	44,768	60.0	142.4	107.0	92,758	33.5	110.7
7	160,686	147,062	104,689	42,372	36,910	71.2	128.5	114.5	99,164	32.3	110.7
8	121,826	111,733	98,811	12,922	8,329	88.4	96.7	107.3	95,600	33.5	111.6
9	115,411	105,640	91,708	13,932	8,547	86.8	91.1	99.0	89,149	35.4	112.2

(注) (1) 実収入-非消費支出 (2) 可処分所得-消費支出  
 (3) 消費支出÷可処分所得 (4) 当該項目(45年=100)÷消費者物価指数  
 (5) 食料費÷消費支出

資料：総理府統計局

家 計

9-2 1カ月1世帯当たりの収入と支出（勤労者世帯）

水戸市		収 入					（単位：世帯，人，歳，円）					
年 月	集 計	世 帯	有 業	世帯主	収入(支出)	実 収 入	勤め先収入	事業・内 職 収 入	他 の 実収入	実収入以 外の収入	前月から の繰入金	
	世帯数	人 員	人 員	の年齢	総 額							
昭和44年	67	3.89	1.55	41.8	149,178	98,937	88,203	2,272	8,462	22,877	27,365	
45	73	3.86	1.38	41.2	172,987	116,677	108,261	2,699	5,716	23,252	33,059	
46. 9	67	3.91	1.42	43.4	166,001	103,263	89,282	3,498	10,483	28,893	33,845	
10	67	3.91	1.49	44.4	165,437	108,179	100,191	3,420	4,568	24,366	32,892	
11	67	3.96	1.51	45.7	186,462	98,899	93,746	1,302	3,851	50,141	37,422	
12	64	3.86	1.45	45.3	451,829	368,218	353,769	955	13,495	53,903	29,709	
47. 1	66	3.92	1.44	43.3	174,577	98,163	90,311	846	7,006	27,899	48,515	
2	66	3.88	1.38	44.0	180,528	106,273	101,521	954	3,797	35,928	38,327	
3	66	3.77	1.38	44.0	191,167	124,819	117,768	1,392	5,659	29,315	37,033	
4	64	3.73	1.30	43.3	183,118	117,802	105,822	5,721	6,259	31,826	33,490	
5	64	3.56	1.28	43.0	173,428	111,606	104,820	2,512	4,274	25,053	36,769	
6	65	3.62	1.34	42.8	271,708	220,180	210,482	3,593	6,104	18,017	33,512	
7	65	3.60	1.37	42.7	230,632	156,882	148,316	2,024	6,542	24,508	49,242	
8	60	3.60	1.30	43.5	181,056	98,621	91,654	2,334	4,633	32,609	49,827	
9	63	3.60	1.32	42.8	197,874	112,276	103,495	4,745	4,036	43,822	41,776	

水戸市		支 出										
年 月	実支出	消 費 支 出						非消費 支 出	実支出 以外の 支 出	繰越金	現 物 総 額	
		計	食料費	住居費	光熱費	被服費	雑 費					
昭和44年	81,659	73,957	21,938	9,389	2,775	8,023	31,852	7,702	37,692	29,826	4,648	
45	97,105	86,608	25,014	9,258	3,190	10,385	38,761	10,497	42,794	33,088	5,477	
46. 9	93,468	84,842	27,640	8,171	2,321	12,029	34,681	8,626	39,613	32,921	4,678	
10	100,443	90,680	28,037	6,282	3,298	13,633	39,430	9,763	28,064	36,930	5,602	
11	113,359	103,458	27,511	16,073	3,352	10,839	45,682	9,901	42,558	30,545	5,917	
12	207,694	175,957	41,089	30,780	5,511	26,292	72,286	31,736	195,482	48,653	15,710	
47. 1	97,905	88,794	22,987	5,299	4,605	11,345	44,558	9,111	41,175	35,497	8,874	
2	109,282	99,419	26,244	9,532	5,141	11,825	46,677	9,863	33,509	37,737	4,235	
3	117,096	105,630	29,622	6,664	4,278	14,070	50,997	11,466	41,346	32,726	6,703	
4	110,341	99,264	28,879	9,341	3,630	11,617	45,797	11,077	32,754	40,023	7,518	
5	105,040	93,275	29,872	11,426	3,103	9,918	38,956	11,765	33,385	35,003	6,478	
6	128,591	108,075	29,965	15,819	2,864	11,896	47,531	20,517	91,596	51,521	5,250	
7	116,113	99,242	29,015	15,687	2,462	12,147	39,931	16,871	66,751	47,768	9,658	
8	106,635	97,402	29,192	13,034	2,436	7,931	44,810	9,233	33,502	40,919	7,625	
9	112,495	100,556	28,356	13,484	2,792	8,363	47,561	11,939	37,675	47,703	5,169	

(注) 集計世帯数，世帯人員，有業人員，世帯主年齢は支出にも該当する。

資料：総理府統計局

# 将来人口の推計 その2

茨城大学教授 所 一 夫

前号までの掲載項目

- 1 はじめに
- 2 基本推計
- 3 全国人口の推計
- 4 死亡による人口減少

## 5. 今後の出生推計

出生の状況は社会経済条件と関連するものであってその将来の推計は容易なものではない。出生は自然動態といわれてはいるが現在のように個人の意志によってコントロールが可能な条件の下では社会状況の変化によって現時点の推計は大きく誤ることも考えられよう。

しかしここでは一応現時点において考えられる諸要

因を分析してそれがいかに将来の出生数に影響を与えるものかその大略を示そう。

まずある年齢階級  $x$  に属する女子が1年間に産んだ出生児数をその級に属する女子人口で割って得られた数値を特殊出生率  $f_x$  で表わす。たとえば次表で昭和40年の20~24歳についての  $f_x$  は

$$f_x = 51.4 \div 457 = 0.11234$$

として求めたものである。

そしてこの特殊出生率は女子の再生産年齢（ふつう15~49歳）について年齢5歳階級別

（15~19歳，20~24歳，……40~44歳，45~49歳）

に求められている。次表は昭和35年，昭和40年の特殊出生率を示したものであると。✓

表

年 齢	昭 和 3 5 年			昭 和 4 0 年			昭和60年
	女子人口	出生数	出生率 $f_x$	女子人口	出生数	出生率 $f_x$	推定出生率
15 ~ 19	463万人	2.0万人	0.00426	537万人	1.8万人	0.00330	0.00330
20 ~ 24	419	44.7	0.10663	457	51.4	0.11234	0.10418
25 ~ 29	411	74.5	0.18113	421	85.4	0.20310	0.22577
30 ~ 34	377	30.1	0.07974	411	35.5	0.08644	0.09095
35 ~ 39	327	7.8	0.02385	375	7.2	0.01929	0.01862
40 ~ 44	274	1.4	0.00518	323	1.8	0.00304	0.00323
45 ~ 49	256	0.9	0.00034	270	0.5	0.00017	0.00018
計 S	2,560	160.6	0.40113	2,794	182.4	0.42768	0.44623
合計特殊出生率5S	—	—	2.00565	—	—	2.13840	2.23115
総再生産率	—	—	0.97015	—	—	1.03654	—
純再生産率	—	—	0.91526	—	—	1.00303	—

（人口問題研究所 浜英彦氏雑誌「統計」記載より）

✓上の表で計Sの行については女子人口と出生数の場合は常識どおりの合計であるが出生率の計はそのままで意味がない。これについて次のように考える。

$f_x$  はそれに該当する年齢の女子1人が1年間に産む平均人数と見られるから、その級に属している5ヶ年間に産む平均人数は  $5f_x$  であり、この  $5f_x$  を全階級を通じて合計すれば5Sとなり、これは1人の女子が15歳から49歳までの間に産む平均人数を示すことになる。これが次行の合計特殊出生率といっている5Sの値である。

また、次行の総再生産率は上の平均出産人数の中で特に女子の推定人数を示すもので、これは出生女児に対する男児の比率が女児100に対して105~106ぐらいということを考慮して定めた数値である。

次行の純再生産率はこれらの女児が母親としての出産年齢に達するまでの間の死亡率を考慮して定めたもので昭和35年では0.91526，昭和40年では1.00303となっている。この純再生産率が1より大であれば1世代後には人口は増加し、1より小さければ減少すると考えられる

ものである。

上述により、ここに示した  $f_x$  が今後の出生を決定づける大きな要因となっていることがわかるが、前表に見るとおり、これも年次とともに変化するものであって将来における  $f_x$  は生命表の場合と同様に過去の傾向や将来の社会状況を参考として求めなければならない。

この  $f_x$  の実際の推定については昭和36~39年頃の上昇傾向を最大値とし、昭和39年の値を最小値としてそれらの平均値を採って推定値としている。この結果によると20~24歳，25~29歳，30~34歳の階級ではわずかの上昇を、その他の階級ではほとんど変化が見られない。この方法によって昭和60年までの推定値を求めて表示したものが上表の右端に示された数値である。

また一方では生命表からの推定により各歳別女子のコーホート人口が推計されるのでその女子人口にここで推定された出生率  $f_x$  を乗じて各年齢における女子の出生数が推定され、この出生数を再生産年齢の15歳から49歳まで加えることによって将来の年次の0歳人口が推定さ

れるのである。

しかし、この推定値も最初に述べたように社会事情によっては大きく変えられる場合も起こってくる。たとえば昭和41年が「ひのえうま」のため出生数が大きく落ち込みその程度はほとんど予知できなかつたものである。

なお、わが国では全国人口の推計の場合には特別の事情が生じないかぎり社会動態の影響は無視してよいので、以上の方法によって推定された今後の出生人口と、前述の死亡の状況の結果とを合わせることにより自然動態による人口の推移が推知される。

これらの方法により人口問題研究所では全国人口として昭和50年には1.0864億、昭和60年1.1646億、昭和70年には1.2023億と推定している。

以上が全国人口推計の概要である。

## 6. 地域人口の推計

地域人口推計の例として府県人口の推計を考えて見る。この推計に関しては前述の全国人口の場合と同様に

(i) 過去現在の人口、(ii) その地域の自然動態の推計を考慮することが基本的な方針であるが、この場合には自然動態要因のほかに社会動態要因が大きく入ってくる。そして、この要因となる他地域からの流入流出人口は若い人達の移動が中心となるために単なる流入流出の人口増減だけでなく、そのために自然動態である死亡数と出生数が大きく変わって、地域人口の変化に対して相乗的な効果となって表われてくる。

このために地域人口の推計にはその地域に対する特殊性と意図的な政策とが大きな研究問題となってくる。その地域が大都市であるとか農漁村であるとかの特殊性に対しては従来からの一般の人口流動傾向によってその将来の動向を見定めることができるが、意図的な政策による人口の流動についてはその政策が実施された場合の、その規模とか内容によって将来人口の推計も大きく改められなければならないものである。

人口問題研究所ではこの社会動態要因を見定める方法として次のような方法を採用した。

まず、現在および過去の実績により全国都道府県を

A 大都市地域の府県で人口増加が頭打ちのもの、

- B 大都市隣接地区で人口急増の傾向のもの。
- C 人口減少から増加に転じたもの。
- D 現在も人口減少が続いているもの。
- E A型に似ているが、流出が少なく出生率が多いために増加傾向が見られるもの。

のように5つの群に分け、(たとえばわが茨城県はこのC型に属している)、各群について人口変化の型を定め、各型について出生・死亡・流出・流入の実態を調査してその将来の推計値に対し、そのおのおのについて考えられる範囲内での最大値と最小値を求め、それらの平均として各型の人口変化の方向を定めている。

前述の自然動態要因に加えてこのように社会動態を考慮して各府県の将来人口の推計値を作ると、その合計は前述の方法によって推定された全国人口の推計値と食い違うのが普通である。

このような場合には最後に、あるいは各府県一律修正により、または一部府県修正によってそれらの合計が全国人口の推計と一致するように修正するのである。

これは全国推計値が地域推計値に対して優位を保つことを示すもので、誤差論で考えている「測定の誤差は細分するほど大きくなる」という考え方であろう。

## 7. おわりに

以上全国および地域人口推計についての人口問題研究所の推計方針の概略を紹介したが、これらは根本的には数学で用いる補間法の区間外適用(延長推計)による推計であり、その根本仮定として現時点までの状態がそのまま継続するという条件のもとに推定された推計値である。したがって社会条件が変わり経済環境が変化すれば出生率も死亡率も社会動態の様相も変化するものである。

しかしこれを部分的でなく全般的な集団の統計量と見れば確率論の保証する限界において以上の推計は大體信頼の置ける推計を与えるものと思われる。最後に本稿は  
上田正男著：人口統計 一粒社

浜 英彦：人口および世帯の将来推計(雑誌 統計) 1969年掲載  
などによったことを記しみなさんの参考に供します。

## 統計ニュース

### ◇ 3月の主な行事 ◇

- 1~11日 新設集団住宅設定現地調査
- 2日 経営研究会(県統計協会主催)
- 6~7日 常住人口調査事務打合せ会
- 26~27日 県民所得講習会
- 27~28日 経営研究会(全国統計協会連合会主催)
- 下旬 県統計協会理事会

## 編集室

## 椿

統計課の応接用テーブルの上に椿がつけられた。緑葉に抱かれるように赤い花を今にも咲かせようとしているこの常緑喬木は、母が子をかばい、育んでいるようである。冬の寒風の吹きさらす中、じっと春を待ち、見事な花を開かせる様は感銘深いものがある。

このような気持ちは、春らんまんの4月、子供の手を引いて小学校の入学式に臨む父兄にも相通じるものがある。

ちなみに、分校を含め、578の小学校の門をくぐる児童の数は、本県で昨47年は33,798人で、1,049の学級に分かれて教育を受けることになる。これらの児童が、幾多の風雪を乗り越え、一人前になるには、さらに10数年の歳月を要する。生きとし生けるもの、みな大へんな労苦である。

子をかばう 母の姿や 玉椿 弘  
(黒沢)